

令和 2 年度 上野学園大学 卒業時アンケート 報告書

1. はじめに

この「上野学園大学 卒業時アンケート」は、上野学園大学の卒業直後の卒業生を対象に、本学での学生生活がどのようなものであったかという、基礎的データを得ることを目的に行われた調査である。

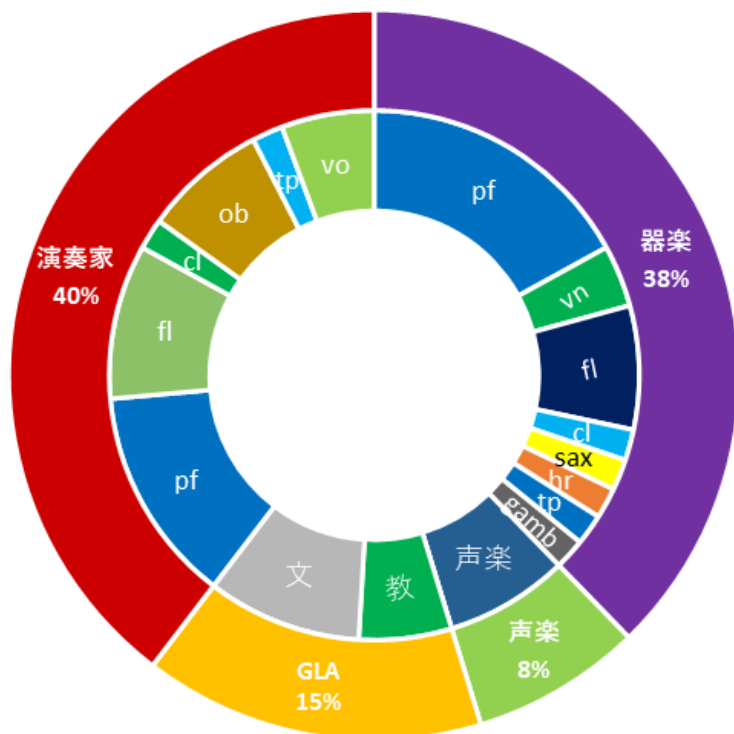
2. 基本項目

日時 令和 3 年 3 月 17 日 (水)
 場所 1507 講義室
 対象 音楽学部 4 年次生 (卒業生)
 対象人数 53 名 (男 8、女 45)
 回収数 51 名 (回収率 96%)
 用紙 A3 片面 1 枚
 方法 無記名式アンケート

専門別の学生数と回収数

(人)

	器楽								声楽	GLA			演奏家					
	pf	vn	fl	cl	sax	hr	tp	gamb		音	教	文	pf	fl	cl	ob	tp	vo
学生数	9	2	4	1	1	1	1	1	4	0	3	5	7	5	1	4	1	3
回収数	9	2	4	1	1	1	1	1	3	0	3	5	6	5	1	4	1	3
回収率 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	75	0	100	100	86	100	100	100	100	100



学生の専門別割合

器楽コース	38%
pf	17%
vn	4%
fl	8%
cl	2%
sax	2%
hr	2%
tp	2%
gamb	2%
声楽コース	8%
GLA コース	15%
音楽学	0%
音楽教育	6%
文化創造 M	9%
演奏家コース	40%
pf	13%
fl	9%
cl	2%
ob	8%
tp	2%
vo	6%
pf	13%

3. アンケート集計結果

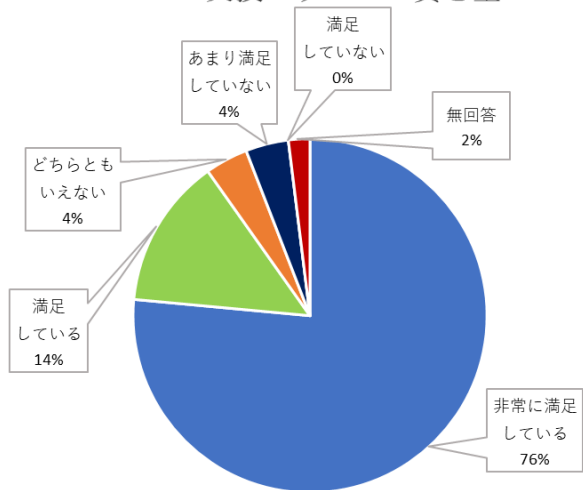
I 教育

I-1 本学の教育内容や教育環境に対してどの程度満足しているか

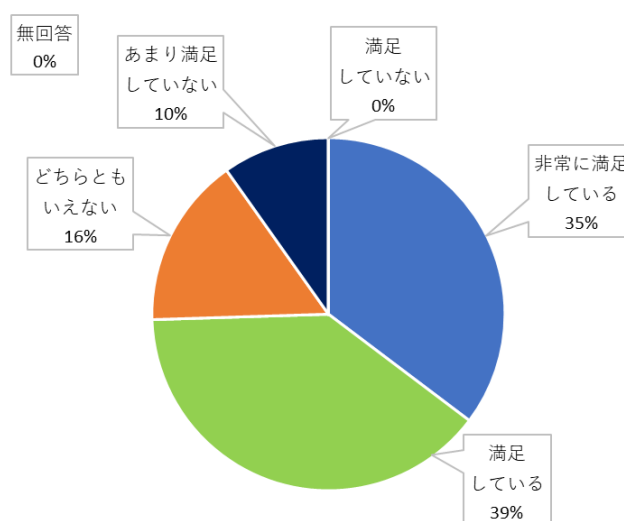
(人)

		非常に満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
1	実技レッスンの質と量	39	7	2	2	0	1
		76%	14%	4%	4%	0%	2%
2	講義の質と量	18	20	8	5	0	0
		35%	39%	16%	10%	0%	0%
3	進路と授業内容の結びつき	21	14	10	3	3	0
		41%	27%	20%	6%	6%	0%
4	教員と話をする機会	30	13	7	1	0	0
		59%	25%	14%	2%	0%	0%
5	学生同士の一体感	20	16	15	0	0	0
		39%	31%	29%	0%	0%	0%
6	1つの授業を履修する学生数	22	14	13	1	0	1
		43%	27%	25%	2%	0%	2%
7	学生生活に関わる相談体制	18	8	18	4	3	0
		35%	16%	35%	8%	6%	0%
8	事務局の対応	17	14	12	7	1	0
		33%	27%	24%	14%	2%	0%

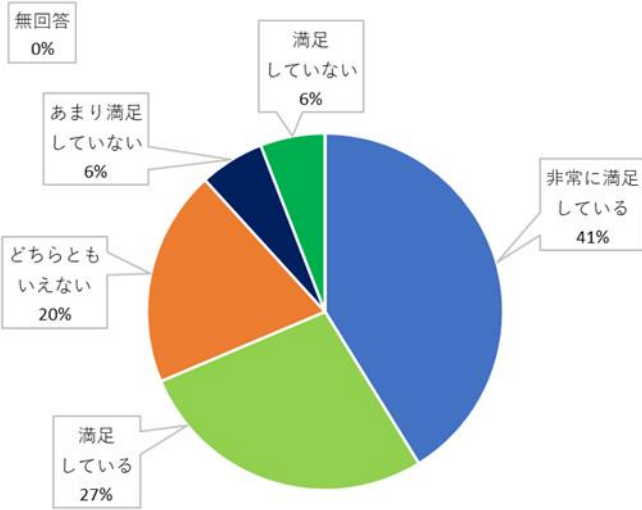
I-1-1 実技レッスンの質と量



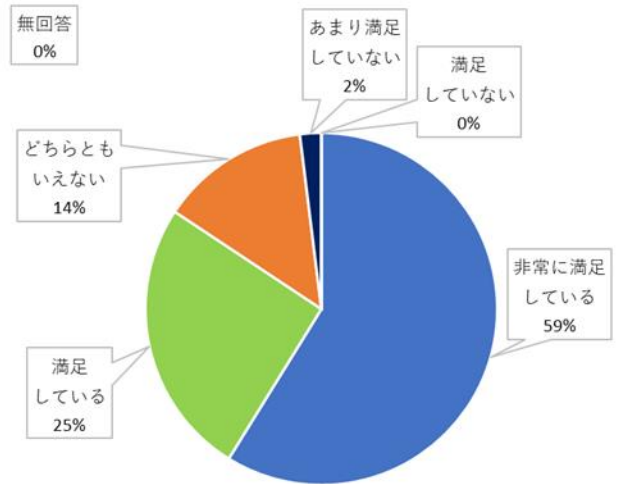
I-1-2 講義の質と量



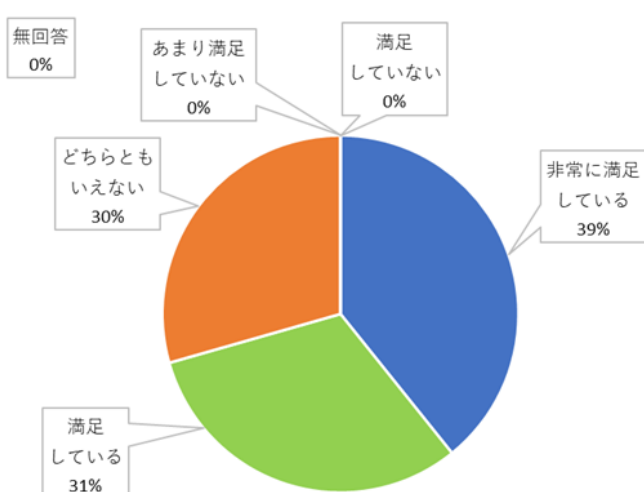
I-1-3 進路と授業内容の結びつき



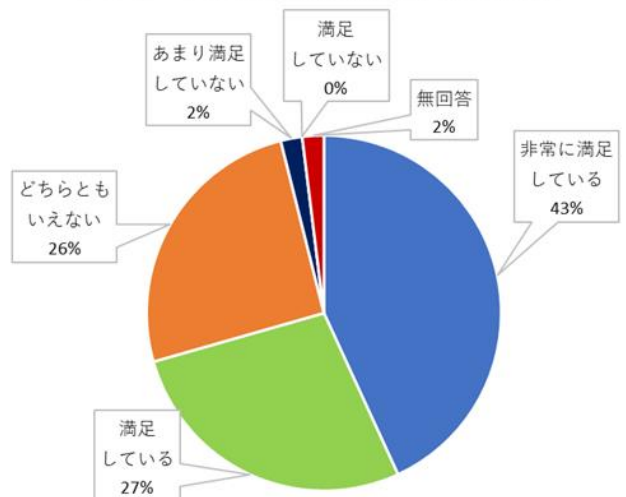
I-1-4 教員と話をする機会



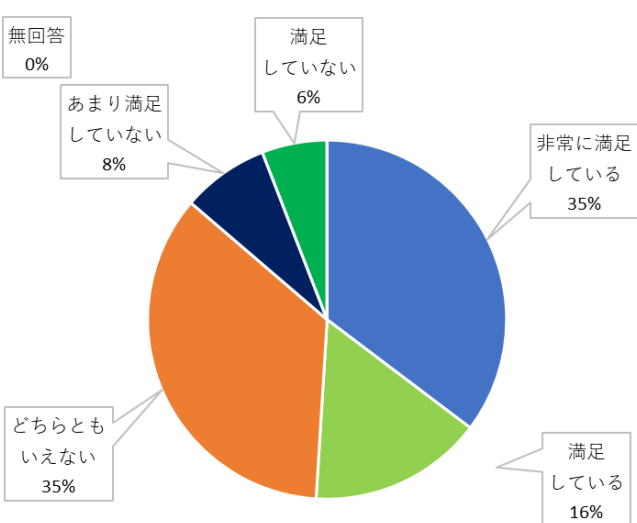
I-1-5 学生同士の一体感



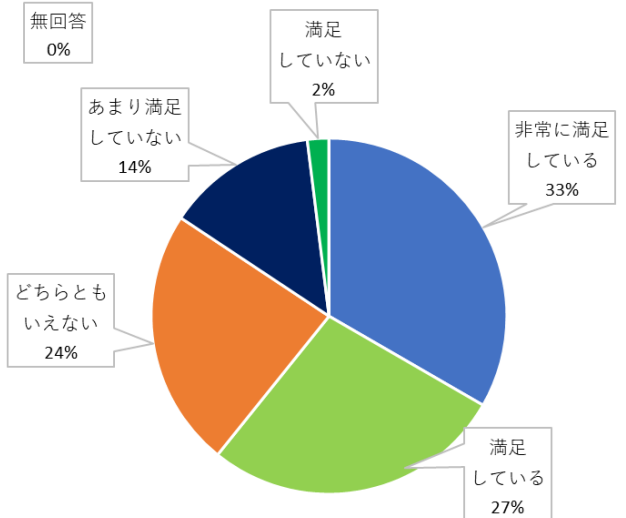
I-1-6 1つの授業を履修する学生数



I-1-7 学生生活に関わる相談体制



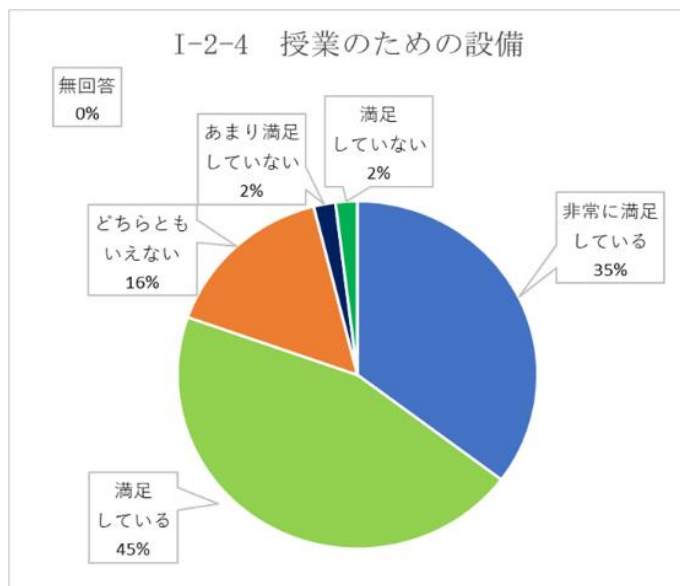
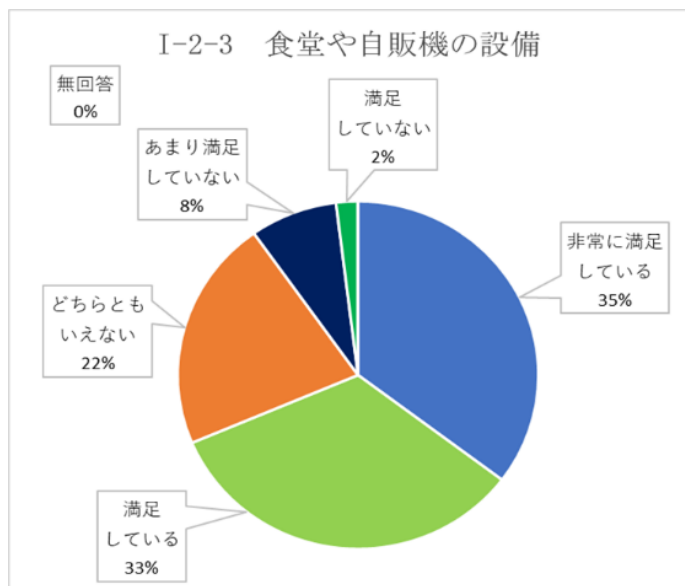
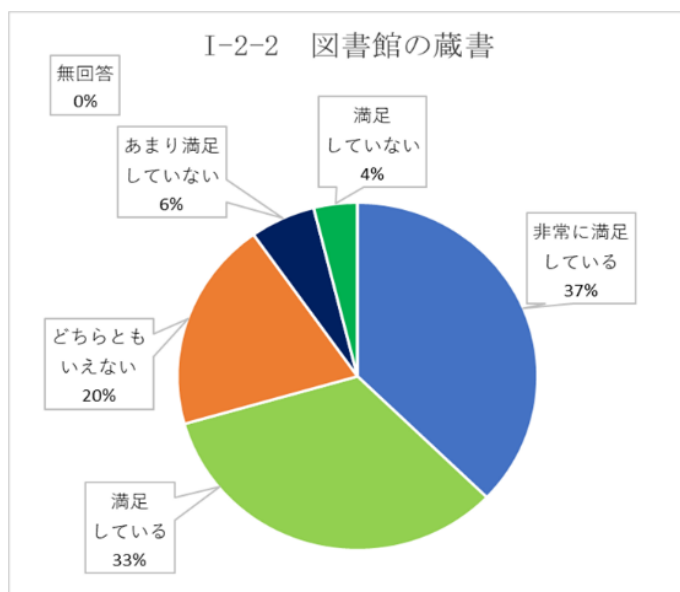
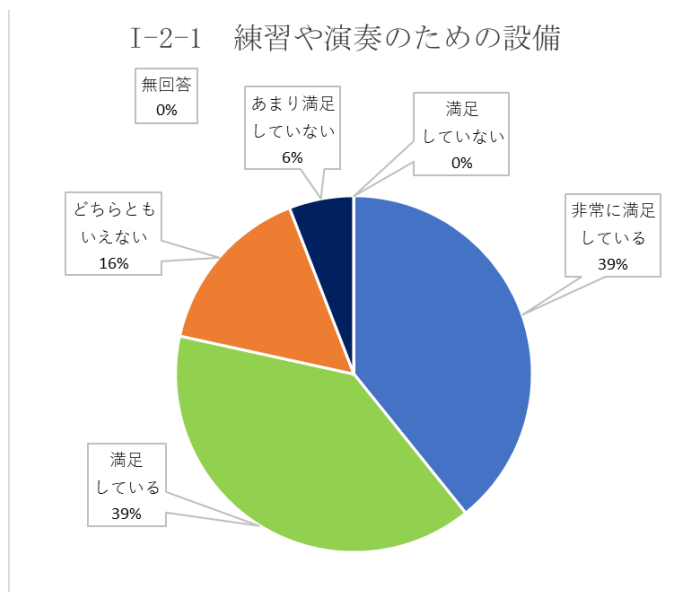
I-1-8 事務局の対応



I-2 本学の教育施設に対してどの程度満足しているか

(人)

		非常に満足 している	満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	満足 していない	無回答
1	練習や演奏のための設備	20	20	8	3	0	0
		39%	39%	16%	6%	0%	0%
2	図書館の蔵書	19	17	10	3	2	0
		37%	33%	20%	6%	4%	0%
3	食堂や自販機の設備	18	17	11	4	1	0
		35%	33%	22%	8%	2%	0%
4	授業のための設備	18	23	8	1	1	0
		35%	45%	16%	2%	2%	0%



I-2-5 その他、大学生活で必要だったと思う設備 [自由記述]
(件)

設備	件数
コンビニ	1
換気	1
自販機	1
図書館の楽譜	1
練習室	1
なし	1

Ⅱ 進路

Ⅱ-1-1 入学前もしくは入学時に考えていた進路

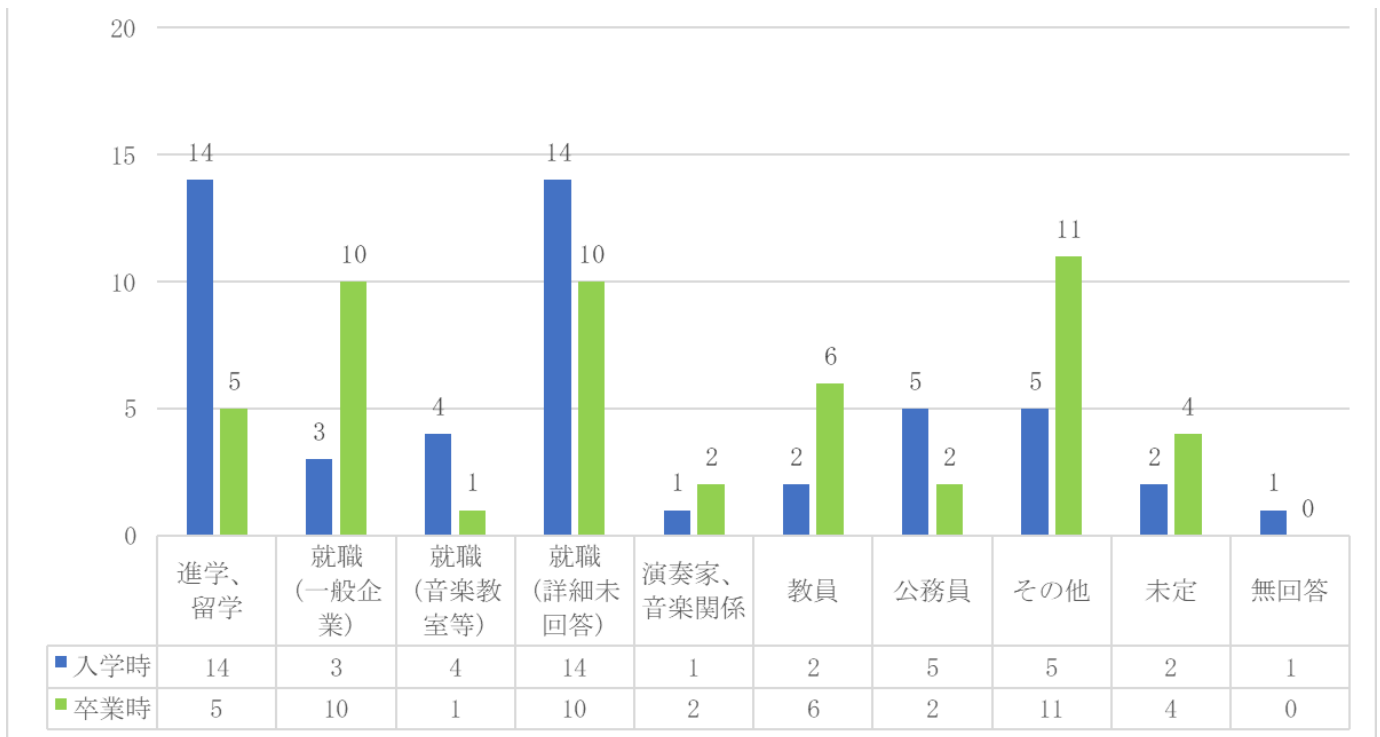
(人)

	進学、 留学	就職（一 般企業）	就職 （音楽教 室等）	就職 （詳細未 回答）	演奏家、 音楽関係	教員	公務員	その他	未定	無回答
人数	14	3	4	14	1	2	5	5	2	1
比率	27%	6%	8%	27%	2%	4%	10%	10%	4%	2%

Ⅱ-1-2 卒業時の進路

(人)

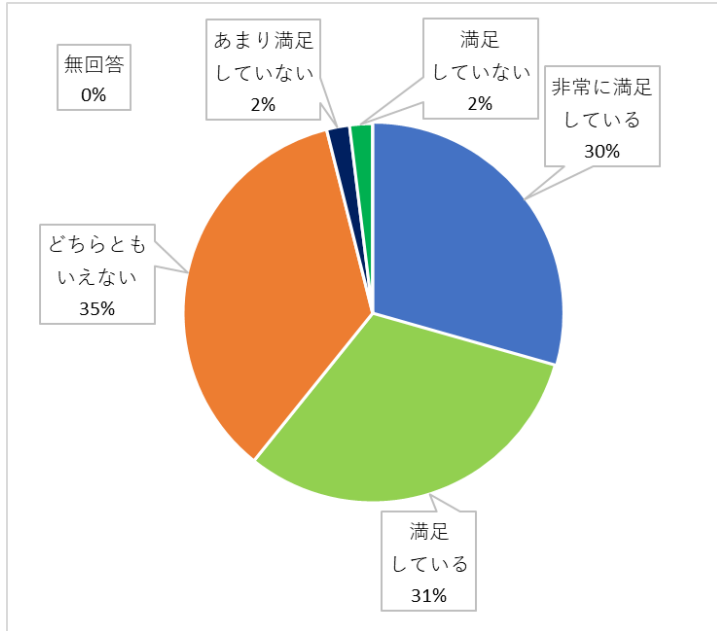
	進学、 留学	就職（一 般企 業）	就職 （音楽教 室等）	就職 （詳細未 回答）	演奏家、 音楽関係	教員	公務員	その他	未定	無回答
人数	5	10	1	10	2	6	2	11	4	0
比率	10%	20%	2%	20%	4%	12%	4%	22%	8%	0%



II-1-3 卒業時の進路への満足度

(人)

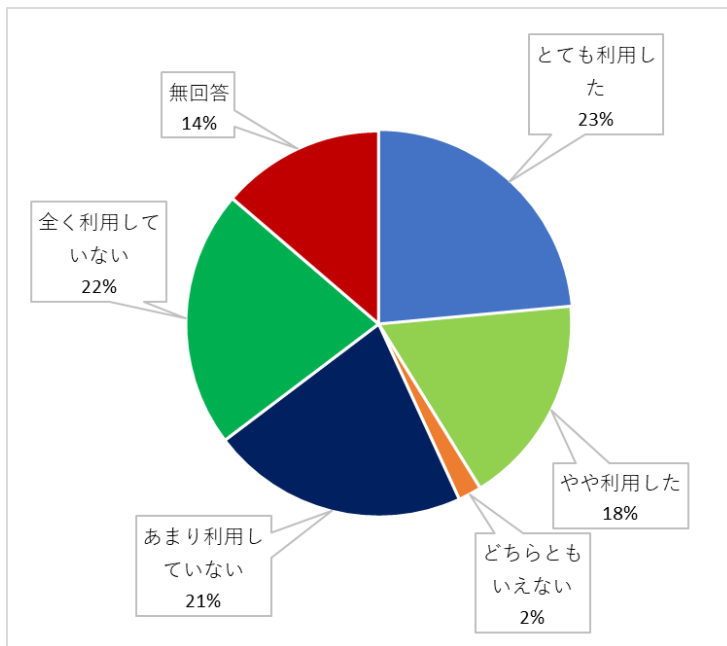
	非常に満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
人数	15	16	18	1	1	0
比率	29%	31%	35%	2%	2%	0%



II-1-4 就職活動でのキャリア支援センターの利用

(人)

	とても利用した	やや利用した	どちらともいえない	あまり利用していない	全く利用していない	無回答
人数	12	9	1	11	11	7
比率	24%	18%	2%	22%	22%	14%

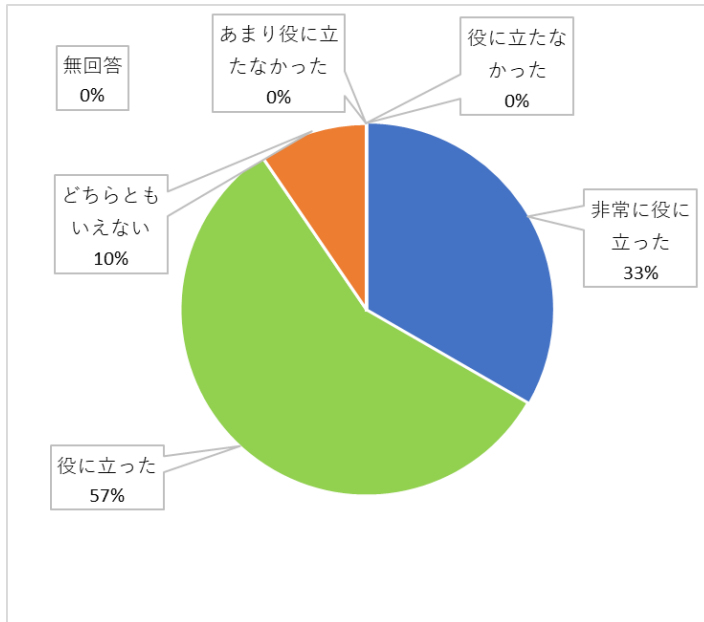


Ⅱ-1-5 就職ガイダンスや就職指導の有用性

[Ⅱ-1-4 で「とても利用した」「やや利用した」と回答した者のみ集計] (※計 21 人)

(人)

	非常に役に立った	役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	無回答
人数	7	12	2	0	0	0
比率	33%	57%	10%	0%	0%	0%

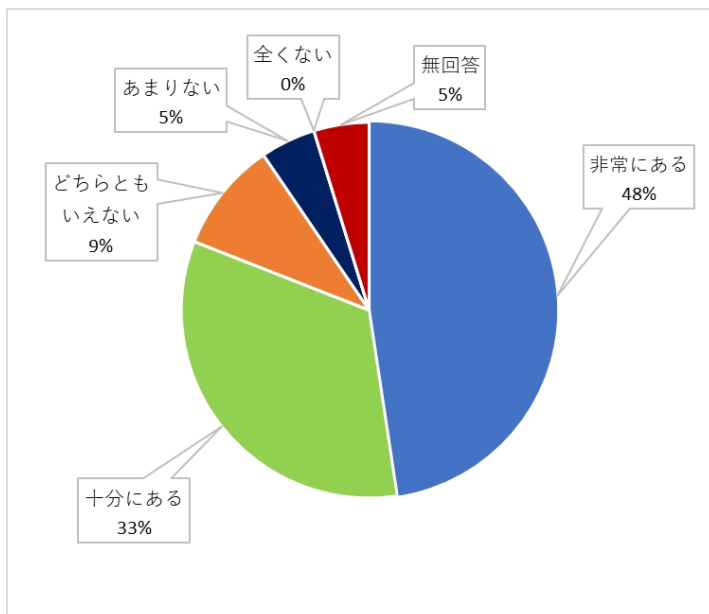


Ⅱ-1-6 キャリア支援センター利用前と利用後での就職に対する変化

[Ⅱ-1-4 で「とても利用した」「やや利用した」と回答した者のみ集計] (※計 21 人)

(人)

	非常にある	十分にある	どちらともいえない	あまりない	全くない	無回答
人数	10	7	2	1	0	1
比率	48%	33%	10%	5%	0%	5%



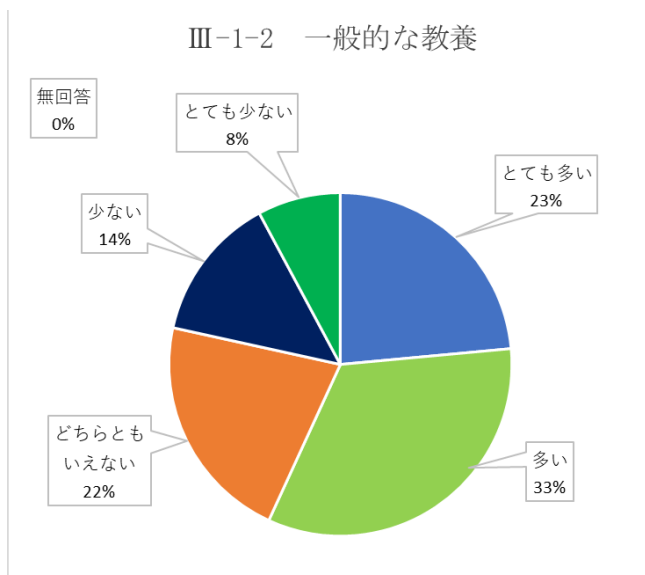
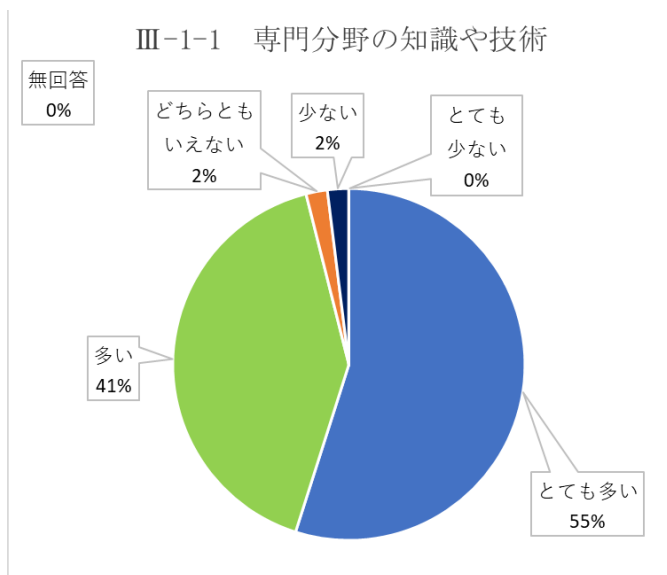
Ⅲ 学生生活

Ⅲ-1 学生生活を通じてどのような能力がどの程度身についたか

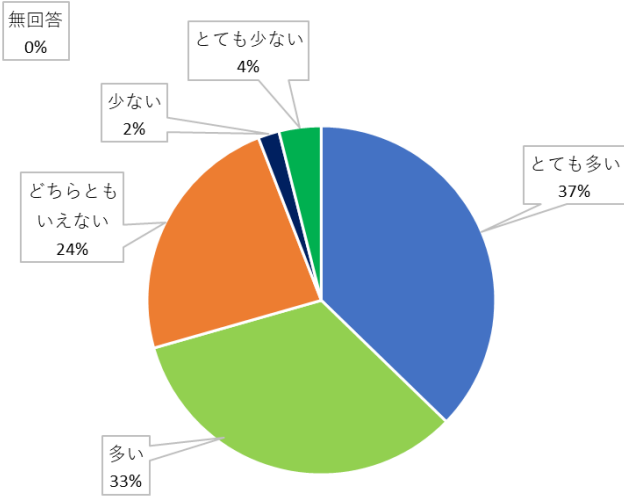
(人)

		とても多い	多い	どちらとも いえない	少ない	とても 少ない	無回答
1	専門分野の知識や技術	28	21	1	1	0	0
		55%	41%	2%	2%	0%	0%
2	一般的な教養	12	17	11	7	4	0
		24%	33%	22%	14%	8%	0%
3	人間関係を構築 する力	19	17	12	1	2	0
		37%	33%	24%	2%	4%	0%
4	問題解決の力	15	24	10	1	1	0
		29%	47%	20%	2%	2%	0%
5	コミュニケーションの力	19	21	8	2	0	0
		38%	42%	16%	4%	0%	0%
6	プレゼンテーションの力	12	16	13	6	4	0
		24%	31%	25%	12%	8%	0%
7	文章表現の力	15	15	11	4	6	0
		29%	29%	22%	8%	12%	0%

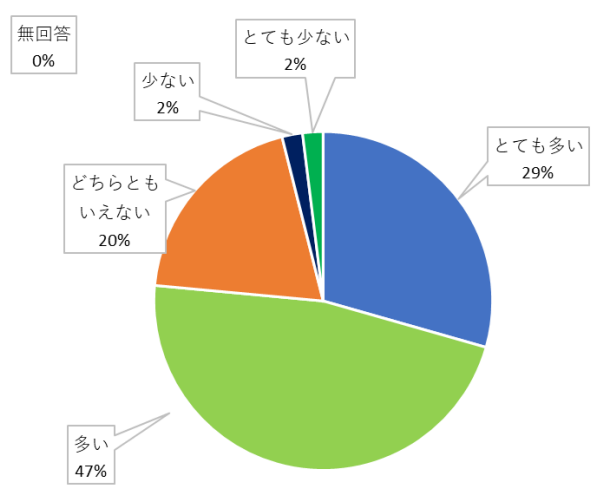
※Ⅲ-1-5 は無効回答 1 を除く



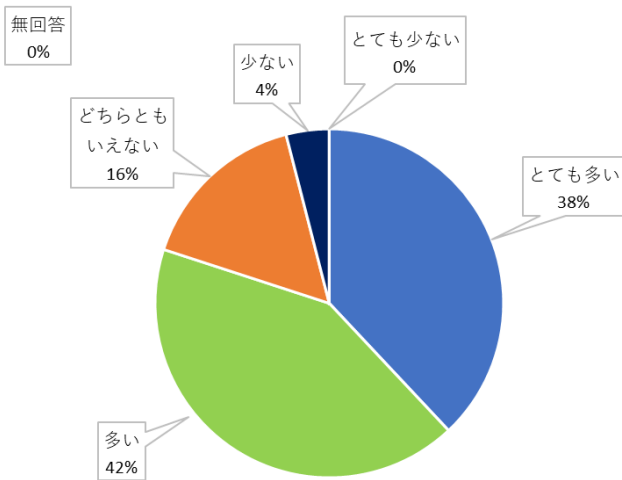
Ⅲ-1-3 人間関係を構築する力



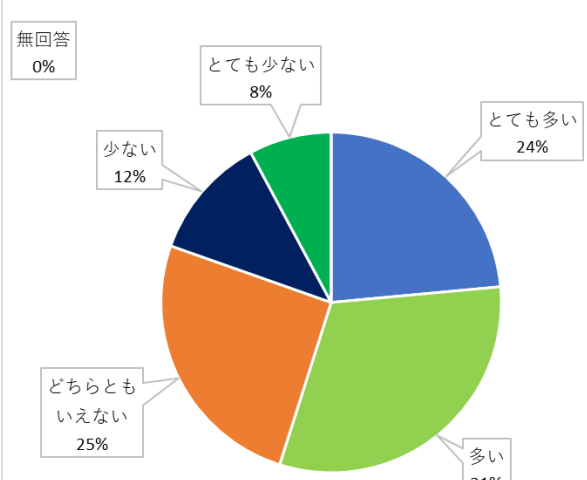
Ⅲ-1-4 問題解決の力



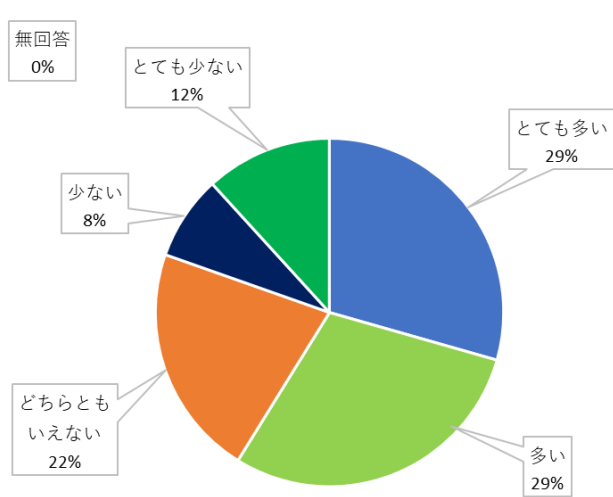
Ⅲ-1-5 コミュニケーションの力



Ⅲ-1-6 プレゼンテーションの力



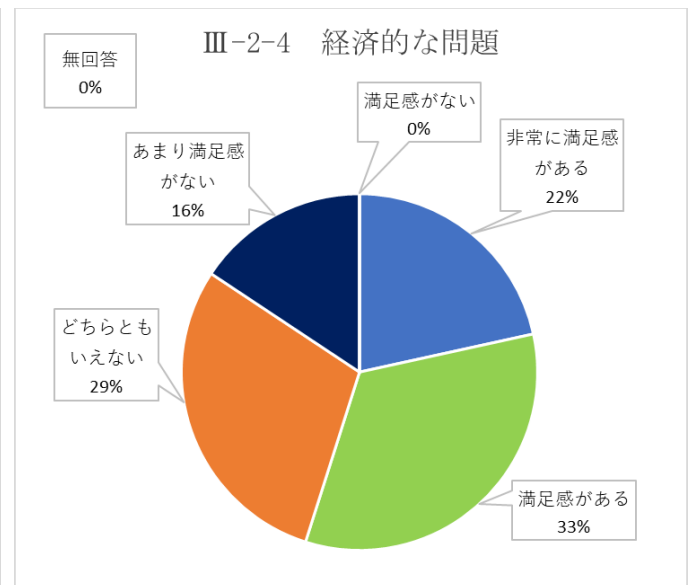
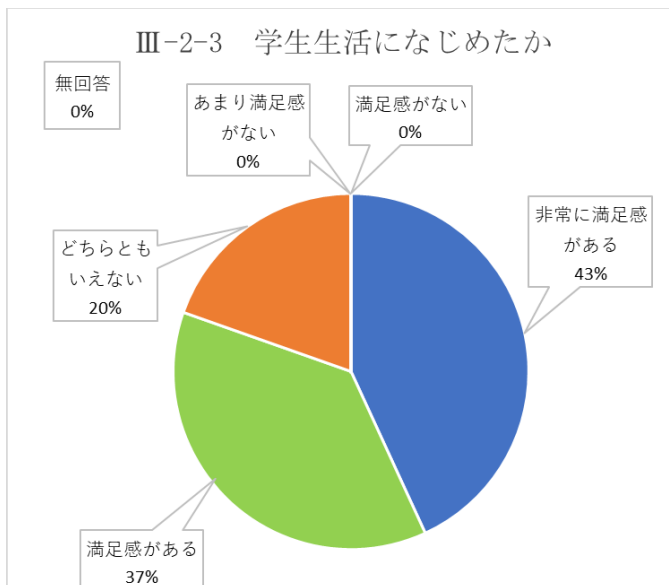
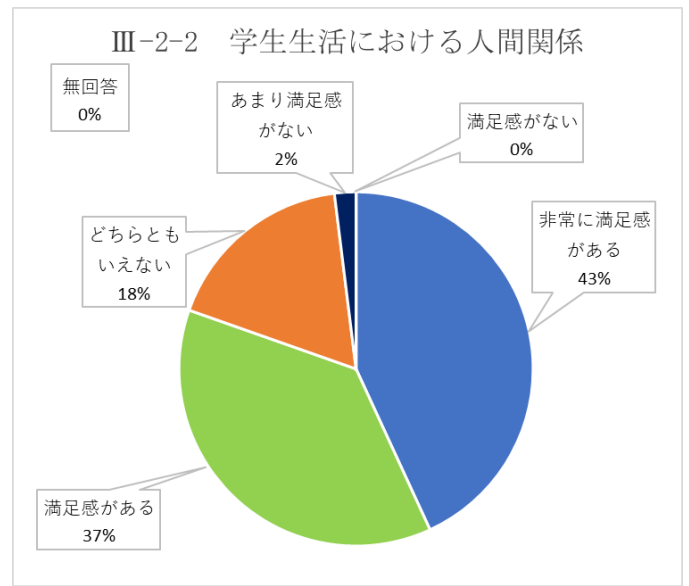
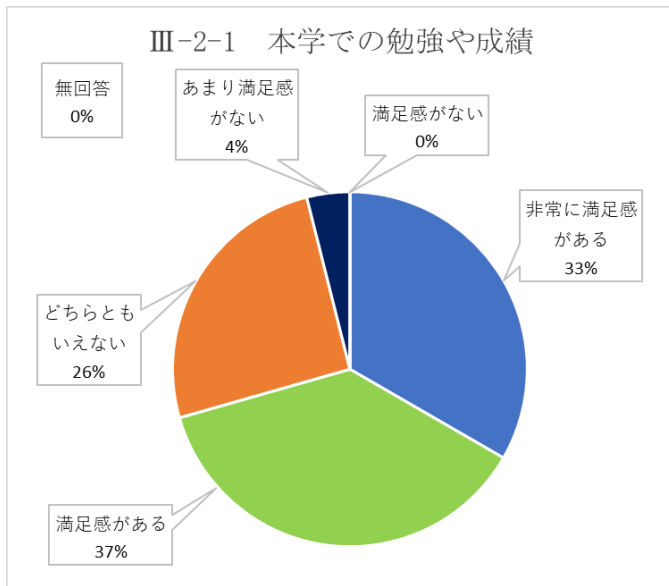
Ⅲ-1-7 文章表現の力



Ⅲ-2 本学での学生生活に対してどの程度満足感が得られたか

(人)

		非常に満足 感がある	満足感が ある	どちらとも いえない	あまり満足 感がない	満足感が ない	無回答
1	本学での勉強や成績	17	19	13	2	0	0
		33%	37%	25%	4%	0%	0%
2	学生生活における 人間関係	22	19	9	1	0	0
		43%	37%	18%	2%	0%	0%
3	学生生活になじめたか	22	19	10	0	0	0
		43%	37%	20%	0%	0%	0%
4	経済的な問題	11	17	15	8	0	0
		22%	33%	29%	16%	0%	0%



Ⅲ-3 学生生活 [自由記述]

Ⅲ-3-1 在学中に力を入れたこと

(件)

内容	件数
専攻楽器の練習	16
課外活動	6
演奏技術の向上	6
演奏会	1
アンサンブル	1
論文執筆	1
レポート	1
教育関係	1

Ⅲ-3-2 一番興味を持った授業

(件)

内容	件数
アンサンブル	11
専門実技	4
音楽基礎科目	3
語学	2
教職科目	4
教養・基礎科目	3
専門教育科目 (講義)	5

Ⅲ-3-3 本学で学んだことを将来どのように生かそうと考えているか

(件)

内容	件数
教員として生かす	5
演奏活動に生かす	4
人間関係やコミュニケーションに生かす	4
音楽関連の仕事に生かす	3
今後のすべてに生かす	3
仕事に生かす	2
将来に生かす	1
後進に教えることに生かす	1
実践の場で生かす	1
コンサート制作に生かす	1
フリーランス活動に生かす	1
人とのコミュニケーションに生かす	1
その他	2

Ⅲ-3-4 本学に希望すること、意見等

(件)

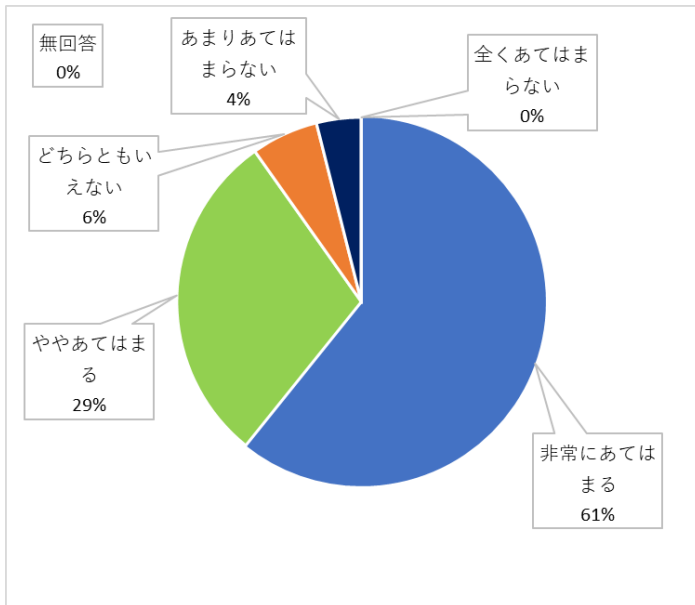
内容	件数
施設（練習室含む）に関する事	6
学生同士の交流に関する事	5
修学環境に関する事	2
授業・教員に関する事	1
その他（特に無しを含む）	5

Ⅲ-4 本学で学んだ日々がどのようなものであったか

Ⅲ-4-1 本学に入学して良かった

(人)

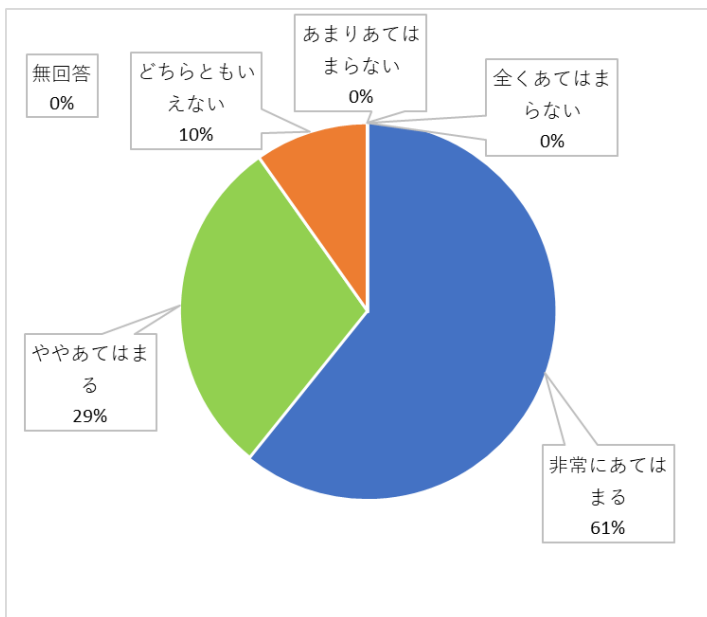
	非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	無回答
人数	31	15	3	2	0	0
比率	61%	29%	6%	4%	0%	0%



Ⅲ-4-2 本学で過ごした学生生活は充実していた

(人)

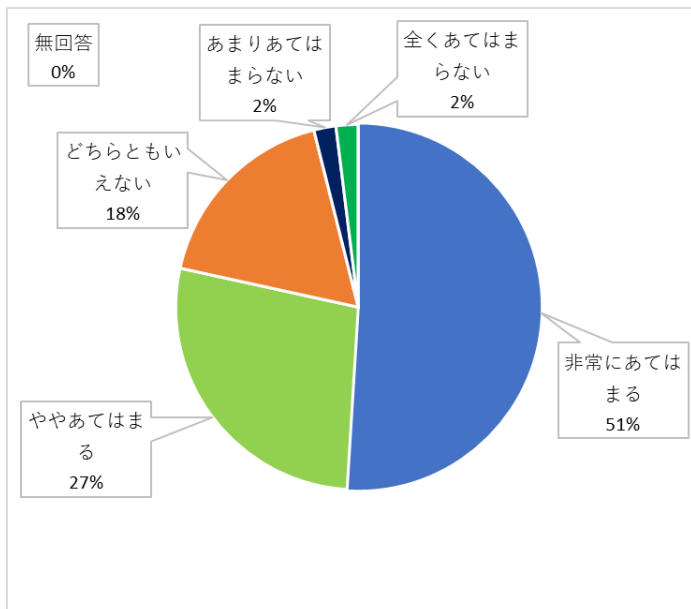
	非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	無回答
人数	31	15	5	0	0	0
比率	61%	29%	10%	0%	0%	0%



Ⅲ-4-3 本学で学んだことを誇りに思う

(人)

	非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	無回答
人数	26	14	9	1	1	0
比率	51%	27%	18%	2%	2%	0%



4. 資料（アンケート用紙）

上野学園大学・同短期大学部 卒業時アンケート

2021年3月17日
IR委員会

ご卒業おめでとうございます。
このアンケートは、皆さんの学生生活がどのようなものであったか振り返るとともに、回答いただいた内容は今後の改善のために役立てたいと考えています。
ぜひ率直な意見をお聞かせください。（以下、あてはまるものを○で囲んでください。）

大学（ 4 ）年次（ ）コース（ ）専門
短期大学部（ 2 ）年次（ ）専門【長期履修学生（ 3 ）年目】

↑ 該当者はを入れてください。

【Ⅰ-1】あなたは、本学の教育内容や教育環境に対してどの程度満足していますか。（それぞれ1つ）

		非常に満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
1	実技レッスンの質と量	1	2	3	4	5
2	講義の質と量	1	2	3	4	5
3	進路と授業内容の結びつき	1	2	3	4	5
4	教員と話をする機会	1	2	3	4	5
5	学生同士の一体感	1	2	3	4	5
6	1つの授業を履修する学生数	1	2	3	4	5
7	学生生活に関わる相談体制	1	2	3	4	5
8	事務局の対応	1	2	3	4	5

【Ⅰ-2】あなたは、本学の教育施設に対してどの程度満足していますか。（それぞれ1つ）

		非常に満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
1	練習や演奏のための設備	1	2	3	4	5
2	図書館の蔵書	1	2	3	4	5
3	食堂や自販機の設備	1	2	3	4	5
4	授業のための設備	1	2	3	4	5
5	その他、大学生活で必要だったと思う設備があれば自由に記述ください。 ()					

【Ⅱ-1】進路についてお聞きします。（それぞれ1つ）

1	あなたが入学時に考えていた卒業後の進路はどのようなものでしたか。 1. 就職（一般企業・公務員・教員・音楽教室等）：希望就職先（ ） 2. 進学・留学（大学院・大学・専門学校等）：希望進学先（ ） 3. その他（演奏活動・アルバイト等）：（ ）
2	実際の進路はどのようなものですか。 1. 就職（一般企業・公務員・教員・音楽教室等）：就職先（ ） 2. 進学・留学（大学院・大学・専門学校等）：進学先（ ） 3. その他（演奏活動・アルバイト等）：（ ） 4. 未定
3	卒業後の進路について満足していますか。 1. 非常に満足している 2. 満足している 3. どちらともいえない 4. あまり満足していない 5. 満足していない
4	就職活動でキャリア支援センターを利用しましたか。就職活動をした方のみお答えください。 1. とても利用した 2. やや利用した 3. どちらともいえない 4. あまり利用していない 5. 全く利用していない

5	<p>質問 4 で 1「とても利用した」、2「やや利用した」を答えた方のみお答えください。</p> <p>就職ガイダンスや就職指導は役に立ちましたか。</p> <p>1. 非常に役に立った 2. 役に立った 3. どちらともいえない 4. あまり役に立たなかった 5. 役に立たなかった</p>
6	<p>質問 4 で 1「とても利用した」、2「やや利用した」を答えた方のみお答えください。</p> <p>キャリア支援センター利用前と利用後で、就職活動における変化はありましたか。</p> <p>1. 非常にある 2. 十分にあり 3. どちらともいえない 4. あまりない 5. 全くない</p>

【Ⅲ－1】あなたは、学生生活を通じて以下の能力がどの程度身についたと思いますか。(それぞれ 1 つ)

		とても多い	多い	どちらとも いえない	少ない	とても少ない
1	専門分野の知識や技術	1	2	3	4	5
2	一般的な教養	1	2	3	4	5
3	人間関係を構築する力	1	2	3	4	5
4	問題解決の力	1	2	3	4	5
5	コミュニケーションの力	1	2	3	4	5
6	プレゼンテーションの力	1	2	3	4	5
7	文章表現の力	1	2	3	4	5

【Ⅲ－2】あなたは本学での学生生活に対してどの程度満足感がありますか。(それぞれ 1 つ)

		非常に 満足感がある	満足感がある	どちらとも いえない	あまり 満足感がない	満足感がない
1	本学での勉強や成績	1	2	3	4	5
2	学生生活における人間関係	1	2	3	4	5
3	学生生活になじめたか	1	2	3	4	5
4	経済的な問題	1	2	3	4	5

【Ⅲ－3】あなたの学生生活についてお聞きします。自由に記述ください。

1	<p>在学中に力を入れたことを教えてください。</p> <p>[]</p>
2	<p>一番興味を持った授業を教えてください。</p> <p>[]</p>
3	<p>本学で学んだことを将来どのように生かそうと考えていますか。</p> <p>[]</p>
4	<p>本学に希望すること、意見等ありましたら記述ください。</p> <p>[]</p>

【Ⅲ－4】あなたにとって本学で学んだ日々がどのようなものであったか教えてください。(それぞれ 1 つ)

		非常に あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
1	本学に入学して良かった。	1	2	3	4	5
2	本学で過ごした学生生活は充実していた。	1	2	3	4	5
3	本学で学んだことを誇りに思う。	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

5. まとめ

「実技レッスンの質と量（Ⅰ-1-1）」の満足度の高さ（非常に満足：76%）に対して「講義の質と量（Ⅰ-1-2）」の満足度は明らかに低くなっている（非常に満足：35%）。この点については例年同じような結果が見られることから、学生がどのような講義を求めているか具体的な検討が必要であろう。

「入学前もしくは入学時に考えていた進路（Ⅱ-1-1）」を見ると、『演奏家、音楽関係』を考えていた学生は2%にすぎず、『就職』は28%、また『進学、留学』は27%となっている。この数値からは、音楽を専門的に学びたいが、しかし演奏家を目指すというわけではなく、将来は一般的な就職を考えるという学生の心を読み取ることができないだろうか。

「教員と話をする機会（Ⅰ-1-4）」がきわめて高い満足度を示している（非常に満足：59%、満足：29%）が、これは主に専門実技担当教員とのコミュニケーションについての回答と考えられ、この高い数値が本学における教員と学生の極めて良好な関係を表していると言えよう。しかし「進路と授業内容の結びつき（Ⅰ-1-3）」では大幅に低い数値（非常に満足：41%、満足：27%）となっている点からは、前述したように専門の学習と将来の進路との結びつきを明確にしきれていない学生の姿を見ることができるだろう。

「就職活動でのキャリア支援センターの利用（Ⅱ-1-4）」によればキャリア支援センターを利用した学生は42%に留まっている。この点からも、自らの進路を考えていくことに消極的な学生の傾向を読み取ることができる。積極的に利用した学生の有用性に対する評価（Ⅱ-1-5）は90%が肯定的なことを考えると、学生に対して自身の将来について主体的に考える姿勢を促し、その思い描く将来に対して必要な専門的知識や幅広い教養を身に付けられるような講義を展開していくことが重要と思われる。

この点から「学校生活を通じてどのような能力がどの程度身についたか（Ⅲ-1）」を見てみると、「専門分野の知識や技術（Ⅲ-1-1）」が96%という極めて高い肯定的評価を示しているのに対して「一般的な教養（Ⅲ-1-2）」は56%という非常に物足りない結果となっている。徒に専門技術のみを追求するのではなく、少人数制一貫教育により音楽を通じて豊かな教養を身に付けた人格を育成するという本学の教育の根本を今一度確認し直す必要がある。「本学に入学して良かった（Ⅲ-4-1）」「本学で過ごした学生生活は充実していた（Ⅲ-4-2）」への肯定的評価が何れも90%となっているのに対して、「本学で学んだことを誇りに思う（Ⅲ-4-3）」が78%となっていることへの対応策も、そうした取り組みの中から見えてくるのではないだろうか。

2022年2月10日

IR委員会